

令和 2 年 5 月 29 日

〈消化器内科からのお知らせ〉

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本内視鏡学会から確実な感染防護策をとった上で、内視鏡検査を行うよう提言が出されました。神戸赤十字病院では、以前より十分な感染対策を行ってまいりましたが、より確実な感染防御策を行った上で、内視鏡検査の再開を考えております。そのため、以下のことを変更する予定です。

- ・ 上部内視鏡検査では、1 日の件数を減らして、内視鏡周辺の消毒を十分に行います。紹介患者様の予約は最優先でとらせて頂きますので、大きな変化はないかもしれませんが、若干の余裕を頂ければ幸いです。予約方法は従来通りです。
- ・ 下部内視鏡検査では、病院で腸管洗浄液を内服して頂く人数を減らします。腸管洗浄液を内服する部屋は過密になりますし、院内トイレでの感染の危険性があります。可能であれば、腸管洗浄液を自宅で飲んでから来院して頂くことをお勧めします。事前に外来にご紹介頂ければ、当院で飲み方を指導させて頂くことができ、小さなポリープの場合、内視鏡検査当日にポリープ切除を行うこともできます。遠方の方や高齢の方は、前日から入院して、病室で腸管洗浄液を飲むことも可能です。
- ・ 緊急内視鏡の場合、施行前に胸部 CT を必須とさせて頂きます。無症状の新型コロナウイルス感染症の方もおられるため、胸部 CT で肺炎の有無を確認させて頂き、患者様の安全も確保いたします。

通常の外來へのご紹介は今まで通りです。安心・安全な消化器内科診療を目指して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

神戸赤十字病院

消化器内科

藤井 正俊、白坂 大輔